



Waters

日本薬学会第125年会
日本ウォーターズ株式会社 ランチョンセミナー

分離サイエンスにおける革新：
Ultra Performance LC™のご紹介

ご挨拶

東北大学病院教授 薬剤部長・薬学部教授 後藤順一 先生

講演

日本ウォーターズ株式会社 アプリケーションケミスト 臼井智子

日時 平成17年3月31日（木） 12：30～13：30

場所 東京ビッグサイト1階（B会場）

薬学においていかなる手法・対象化合物であれ「分析」という仕事は常に存在し、また医薬品開発・診断・治療のどの段階においても分析の更なる効率・生産性が求められていることは誰しも認識しているところである。様々な分析手法がある中で液体クロマトグラフィ（HPLC）は最も汎用的に使われている技術であり、また、あまりに広く一般的に使われているがために逆に、これ以上の技術革新はないものと思われていた。

ウォーターズはHPLC開発のパイオニアとして長年培った技術を応用し、この度Ultra Performance LC：UPLC™を発表する。これはHPLCカラムの充てん剤に新技術を取り入れ、その分離性能を最大限に生かすハードウェアをつくり上げたことにより初めて実現した。「従来のHPLCの9倍のスピード、3倍の感度、2倍の分離性能」を現実のものとし、次世代の技術を今日提供することに成功した。

今回のセミナーでは、長く薬学分析に携わっておられる東北大学教授後藤順一先生をお招きし、分析の歴史と発展について簡単にお話いただいた後、UPLC™技術について理論及び質量分析計との連結も含めた応用例を紹介する。



UPLC™